

令和2年度原子力防災訓練等の検証結果と対応（概要）

原子力防災訓練（10/22実施）、ドローン運用訓練（10/6～9実施）、オフサイトセンター運営訓練（11/26実施）及び災害対策本部運営訓練（12/23実施）の主な検証結果と対応は次のとおり。

	検証結果	対応（令和3年度当初予算計上等）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時の渋滞、複合災害時の道路寸断等における避難対策の更なる充実強化 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに伊方町の瀬戸地域で車両用待避所の設置等による避難円滑化事業を実施 (原子力防災緊急時避難円滑化事業費【新規】) ・複合災害時の代替避難路の確認に係るドローン運用訓練・研修の充実化 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・海路避難における船舶での更なる感染症対策の検討 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健常者と体調不良者の分離のため、新たに船舶内でのゾーニングや別便搬送の訓練を実施 (原子力防災体制強化事業費【拡充】)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車による広域避難訓練の実施の検討 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスによる広域避難訓練に加え、新たに自家用車による広域避難訓練の実施 (原子力防災体制強化事業費【拡充】)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる避難路の状況撮影を適切に行うための機首角度設定の簡易化が必要 (原子力防災訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの向きと連動する機首角度の設定を自動化するため、運航システムを改修 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い時間帯におけるドローンの映像が不鮮明なため、改善策を検討 (ドローン運用訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高感度カメラやセンサー等をドローンに取り付けて飛行させる実証実験の実施 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・位置情報と連動させるなど、ドローンの撮影場所を迅速に特定できる方策を検討 (ドローン運用訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運航管理システムと映像収集配信システムを連携させ、位置情報を特定できるよう改修 (原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【拡充】)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・現地災害対策本部要員の更なる対応能力向上のため、より厳しい場面を想定した状況付与の設定の検討 (オフサイトセンター運営訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・より厳しい場面や同時多発的な状況付与による、図上訓練の充実強化 (原子力防災体制強化事業費【継続】)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部要員の原子力防災システム(NISS)に係る操作・運用方法の更なる習熟が必要 (災害対策本部運営訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災システム(NISS)に特化した研修を実施し、教育体制を強化 (原子力発電施設等緊急時安全対策事業費【拡充】)